

令和3年5月25日に山形県最上郡金山町で発生した突風について ～気象庁機動調査班（JMA-MOT）による現地調査の報告～

5月25日23時頃、山形県最上郡（もがみぐん）金山町（かねやままち）羽場（はば）から朴山（ほおやま）にかけて発生した被害をもたらした突風の種類は、ダウンバーストの可能性が高いと判断し、その強さは風速約30m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF0に該当します。

5月25日23時頃、山形県最上郡金山町羽場から朴山にかけて突風が発生し、住家屋根のトタンはく離・飛散などの被害がありました。

このため5月26日、山形地方気象台は突風をもたらした現象を明らかにするため職員を気象庁機動調査班（JMA Mobile Observation Team: JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

1. 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、ダウンバーストの可能性が高いと判断した。
（根拠）

- ・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・漏斗雲または移動する渦の目撃など、竜巻の発生を示唆する情報は得られなかった。
- ・突風は強雨やひょうを伴っていたという証言が複数得られた。
- ・突風は5分程度であったという証言や観測データが得られた。

2. 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約30m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF0に該当します。

（根拠）

- ・住家屋根のトタンはく離・飛散

※この資料は、速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

問合せ先：山形地方気象台 防災管理官 出口
電話 023-622-0632 FAX 023-633-0620